

高齢者の見守りに加え、買い物や健康的な食生活を支援
島根県津和野町で高齢者支援の実証実験を開始

島根県鹿足郡津和野町(町長：下森博之。以下、津和野町)とシャープ株式会社(本社：大阪府堺市、社長：戴正呉。以下、シャープ)は、共同で高齢者の見守り、買い物や健康的な食生活のサポートを行う実証実験を、本年12月より開始します。

津和野町は、町内における65歳以上の人口比率が45.7%^{*1}と全国平均^{*2}を大きく上回っており、高齢者が健康的に自立した生活を送ることができるまちづくりが喫緊の課題となっています。本実証実験は、津和野町在住の高齢者50世帯を対象に、シャープの商品やソリューションを活用した下記の3つのサービスを提供し、高齢者の暮らしをサポートします。

1. 見守りサービス

実証実験協力世帯のテレビの使用状況をクラウドでモニタリング。その日初めてテレビの電源を入れたときや24時間操作がない場合などに、あらかじめ登録した親族のメールアドレスに状況を通知します。

2. 買い物支援サービス

テレビ画面に映るオペレーターを通じて食材などの注文が簡単に行えます^{*3}。電話やFAX、メールでも発注可能です。注文した商品は、宅配便で翌日届けられます。

3. 食生活サポートサービス

「ヘルシオホットクック^{*4}」を高齢者世帯や公民館に配布。水を使わず、食材に含まれる水分だけで調理するので、より多くの栄養素を残して、健康的な調理が可能です。さらに、簡単に調理ができる食材パックを地元事業者が開発・提供し、食生活をサポートしてまいります。

津和野町とシャープは、本実証実験を通じて、高齢者が健康的に生活を送ることができるサービスの構築、家族や地域が無理なく高齢者を支える仕組みづくりを目指してまいります。

■ 実証実験の概要

1. 対象：津和野町在住の高齢者(65歳以上の単身者または夫婦を中心とした世帯)50世帯
2. 期間：2016年12月6日～2017年2月28日
3. 内容：実証実験協力世帯に見守り、買い物支援、食生活サポートサービスに必要な各種機器を設置(津和野町から貸与)。実証実験協力世帯の家族などと連携し、高齢者の生活を支援します。

※1 津和野町調べ(2016年9月末現在)。

※2 27.1%。出典：総務省統計局「人口推計」(2016年6月1日現在)。

※3 クラウド型WEB会議システム「TeleOffice」を応用。

※4 下ごしらえをした食材と調味料を入れるだけで、水を使わずに簡単に調理が出来る「水なし自動調理鍋」。

サービス概要

①見守りサービス

テレビに専用機器を接続し電源入切の情報を検知、遠隔地の親族にお知らせするサービス

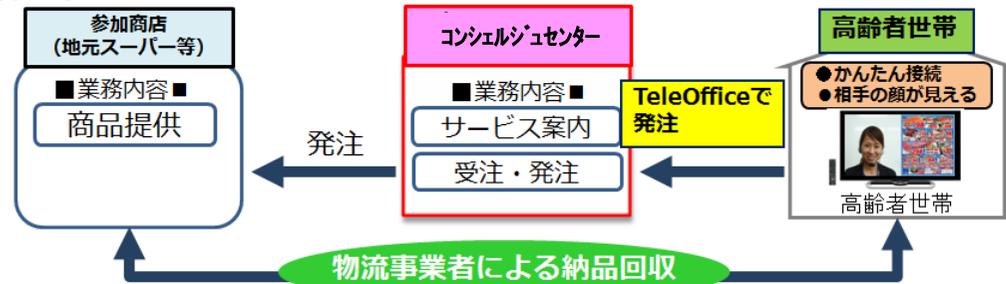
運用イメージ



②買物支援サービス

当社TeleOfficeを使い、役場のオペレーターと会話をしながら買物が出来るサービス。

運用イメージ



③健康増進サービス

ホットクックを高齢者宅等へ配布、健康食材を地元業者が開発、ヘルパー等がサポートするサービス。

運用イメージ



アクティブシニア総活躍事業 ご紹介



2016年12月7日

シャープ株式会社

アクティブシニア総活躍事業とは

平成28年度 津和野町まち人仕事総合戦略を具体化するため
総務省『**地方創生加速化交付金**』を元に行う事業

【概要】

1. 高齢者世帯見守り・買物支援事業をベースに確立(社会福祉的価値)
2. 新会社設立による自助自立運営(事業の持続可能性が必要)

3. アクティブシニア + I T で新しい事業を創出(健康増進と雇用拡大)

【目的】

■ 地域課題解決 ■

高齢化対策として見守り事業及び買物不便を解決することが第一義

売上至上では無く売上見込少
収益的には▲の懸念大

■ 持続可能な町作り ■

公共性・公益性・福祉事業的な見地から町作りには欠かせない取り組みとして第三セクターの推進が必要。

⇒総務省『経営健全化指針』に準拠

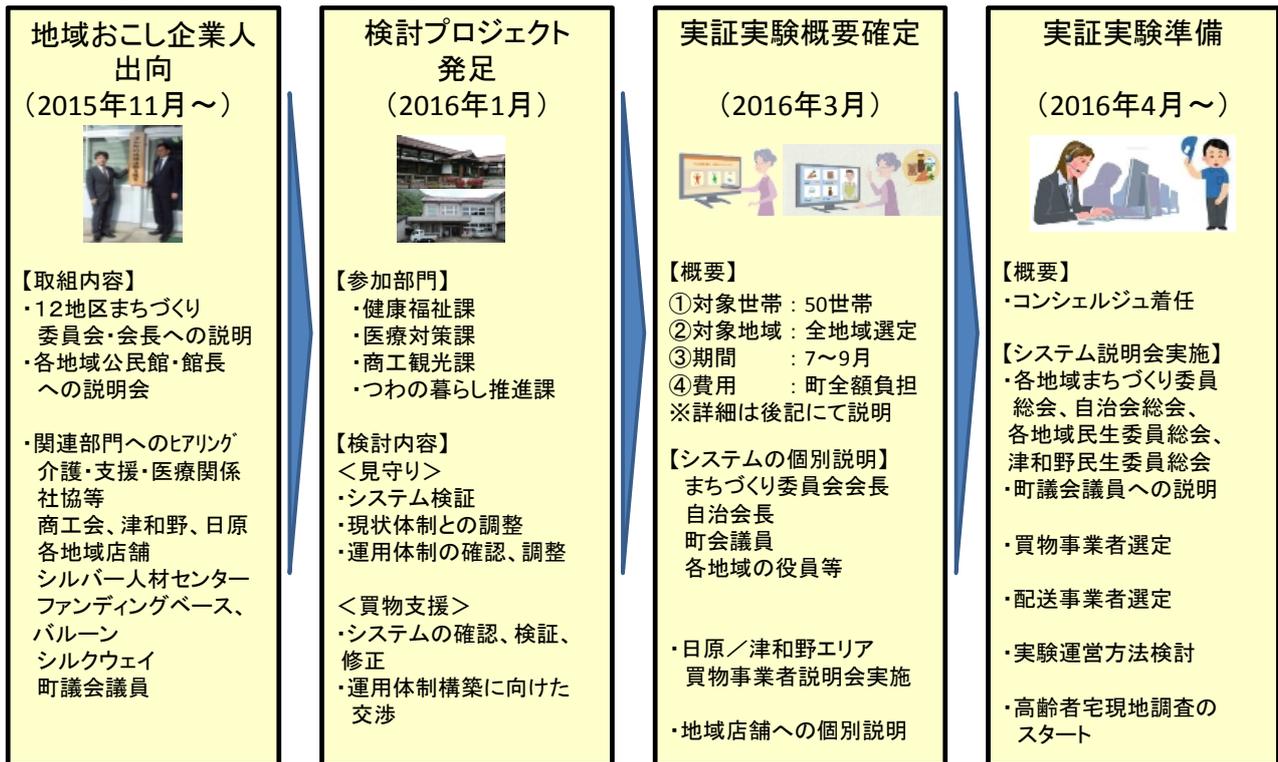
■ アクティブシニアの活躍 ■

- 高齢者向け事業
 - ・ 新規事業の立ち上げ
 - ・ 高齢者による高齢者への生活サービス事業
- ⇒雇用拡大に繋がる
- ・ アクティブシニアが高齢者をリード

津和野町様とシャープで事業内容を検討、
I T + アクティブシニアが造る事業で町を動かす！

テレビ見守り・買物支援事業の取組み

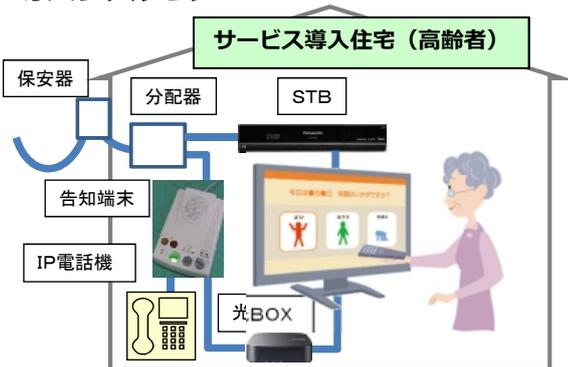
■これまでの経緯■



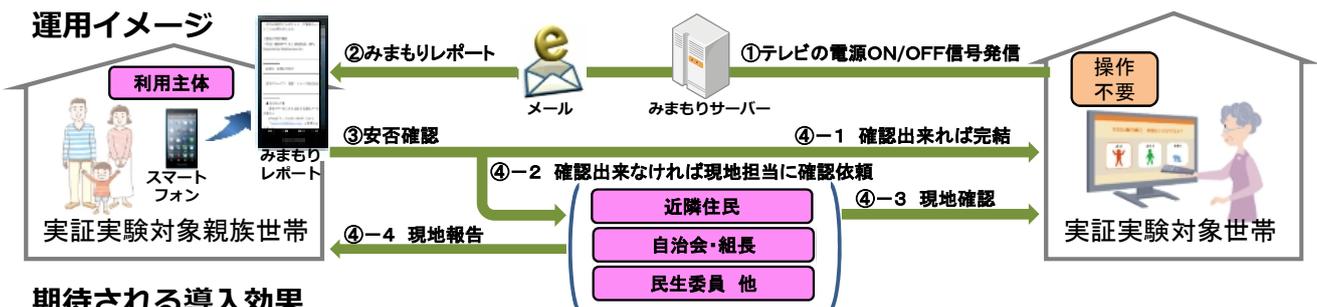
2

テレビ見守りサービスの検討及び実証実験概要

導入システム



運用イメージ



期待される導入効果

- ①テレビの電源情報から高齢者の生活リズムを検知出来るので関係者の**安否確認の効率化**が図れます。
- ②親族世帯の不安解消・コミュニケーションの活性化により健康への気遣い等で**孤独死の抑制**につなげます。

3

買物支援---高齢者宅での発注の流れ

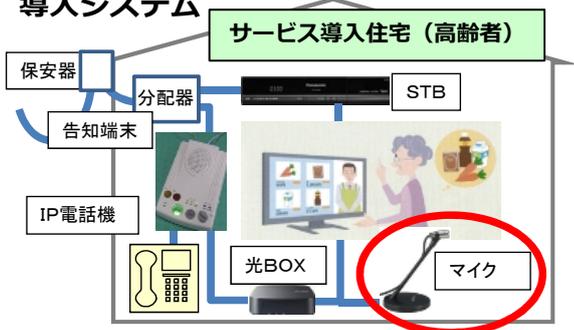


■ コンシェルジュの役割

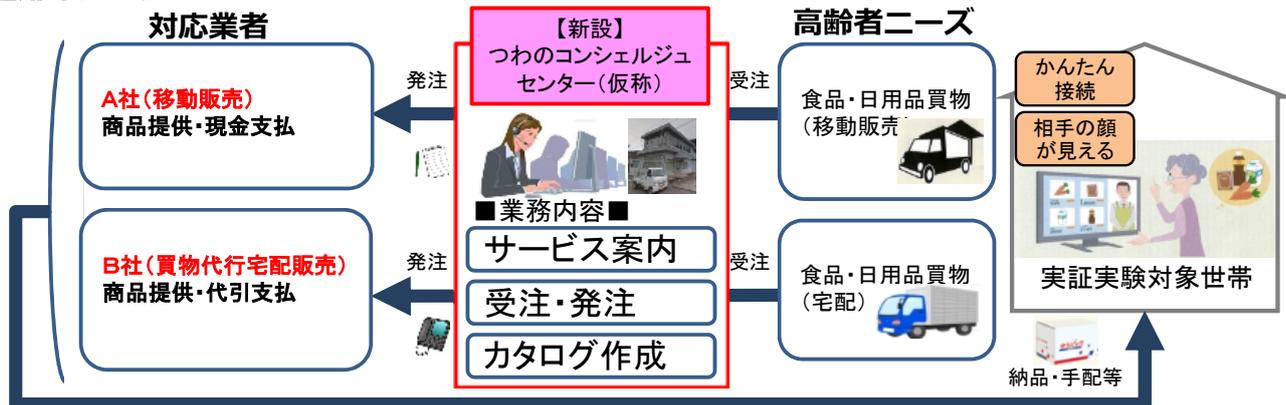
- ① 高齢者との会話を通しお買物をサポート
- ② 買物以外の相談にも対応、お話の相手にも
- ③ 販売店との情報連携、関連部門への指示/コントロール

買物支援サービスの検討及び実証実験概要

導入システム



運用イメージ



期待される導入効果

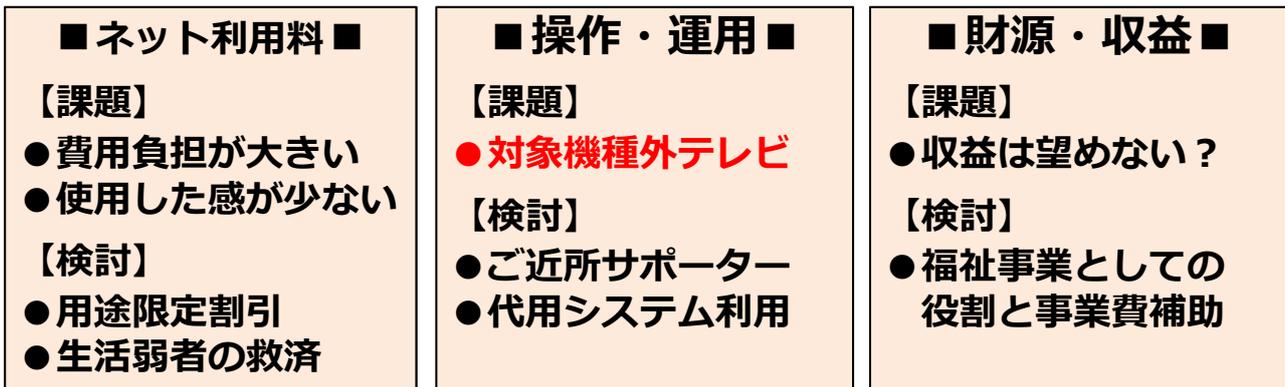
- ① 高齢者はオペレーターとの会話で簡単お買物
- ② 高齢者は欲しい商品を注文・届けてもらえる
- ③ 高齢者は買物以外の相談ができる

テレビ見守り・買物支援事業の進め方

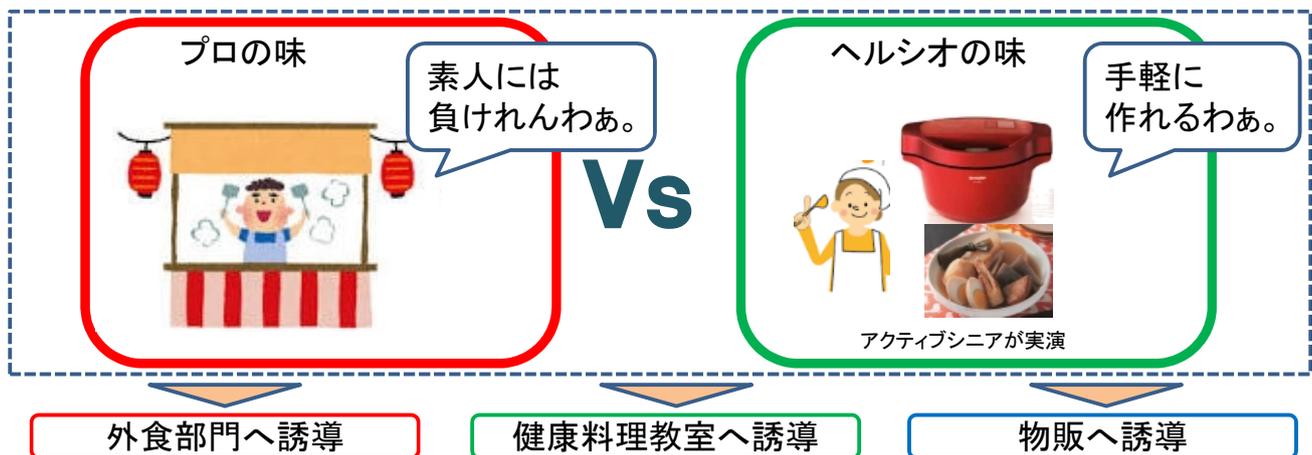
■ 実証実験から本サービスまでの流れ ■



■ 現在把握している課題・方向性 ■



【新事業案】ホットクック物販販促



【対象】テイクアウト事業・物販事業(住民・観光客)

- 繁忙期にアクティブシニアとスポット契約
- テイクアウト商品をプロの調理とヘルシオの調理で試食品を食べ比べ
- プロの調理が好みであれば、外食部門への誘導へ
- ヘルシオの調理が好みであれば、料理教室の紹介
- 出来高に応じて継続雇用等のインセンティブも